

路上カフェと街路樹

神保町のカフェが最近魅力的だ。珈琲が美味しく居心地も良くしかも格安で、「専大」「小学館」にもよく行くが、この錦華通り「青海」の路上2席が格別なのはやはり隣りに街路樹があるからだろう。この境界の緑は再開発のオマケでないし、その日常の猥雑さが心を和ませる。

清水あつし



一度失われれば、二度と戻らないものは多いのです。

「千代田区民の声を届ける会」(千声会)は、地域のよい環境を守り、より良いまちづくりを進めるために行政や議会に区民の声を届けるべく、有志を中心に立ち上げた会です。千代田区では近年、地域の人々の様々な声を十分に吸い上げず、住民に対する説明やその手順も不十分なままで、一部事業者の優遇や、開発ありきとしか思えないような地区計画の変更・地域開発を、強引と言わざるを得ないやり方で進めています。

私たちは、地域の一人ひとりが持つ多様な意見を交え、より豊かな地域を一緒につくっていきたくて考えています。その声は小さくても、集まれば力になります。その第一歩として、「千声会」はこの「かわら版」を作りました。手に取ったみなさまが、ふと立ち止まり一緒に考えてくださることを願っています。そして、一緒に住みよいちよだをつくりませんか。

千代田区が発注した5件の工事入札をめぐり、最低入札価格などの入札情報漏洩、飲食費付け替え、商品券、自宅洗面台工事費用免除など、あわせて32万円余の賄賂を受け取った官製談合防止法違反とあつせん収賄罪に問われた元千代田区議、嶋崎秀彦被告の初公判が6月7日東京地方裁判所で行われた。

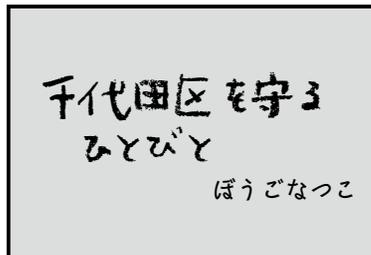
ちよどその頃、山王祭の鳳輦が地域を巡っていた。逮捕がなければその列にいたであろうという祭り好きの被告。弁護士は被告と証人喚問でも祭りの話ばかりで、事件との関連性がないと裁判官から注意されると傍聴席から失笑が漏れた。

論告では入札情報の情報漏洩、あつせん収賄は極めて悪質と、懲役2年6ヶ月追徴金32万円の求刑。弁護人は収賄の金額が少なく、入札制度に欠陥があったこと、第三者委員会の調査にも協力していることを理由に減刑を求めた。

この事件は元職員が自身の逮捕も覚悟の上と告発したことで発覚した。官製談合で江東区議が逮捕されると、被告は「あんなことで逮捕されちゃうのかよ」とつぶやいたと報道された。「あんなこと」としか考えていない被告だから、この告発がなければ官製談合・あつせん収賄は続いていたことだろう。

千代田区は官製談合に関わった職員を公表した。職員を守るべき公益通報制度は機能せず、ただ単にトカゲの尻尾切りで終わるのではないか。肝心の管理監督者である区長には何も処分がないのは釈然としない。一番の疑問は、裁判の中で見ず知らずの弁護士から嶋崎被告に連絡があったと言っていたこと。見ず知らずの弁護士は誰が依頼したのか、知人マンションに身を潜めていた理由も、まだ公にならない何かがあるのだろうか。

千代田区を襲った【官製談合】
裁判傍聴記
区民の声(外神田在住)



この問題 千代田区の弁護士はこう見えています

官製談合事件で失墜した区政への信頼を取り戻すための第一歩は真相究明です。起訴された事件は氷山の一角ではないかと多くの区民が感じています。他に不正はなかったのか。その真相究明なしに信頼回復はできません。また、嶋崎元区議は区議会の主要委員会委員長を歴任し、神田警察通りのイチョウ伐採、秋葉原の再開発、日テレ本社跡地再開発など住民の意見を二分する問題に深く関与してきました。区職員に法律違反させるほどの大きな影響力で、公正中立であるべき区政が歪められていなかったのか。その点検が必要で、再発防止のためにコンプライアンス・公益通報保護の強化も欠かせません。外部の弁護士等で組織し、独立性を確保することがポイントです。樋口区長は再発防止を唱えているものの、これらの具体的な取り組みは全くできていないため、しっかりとチェックしていく必要があります。



東京千代田法律事務所
弁護士 大城 聡

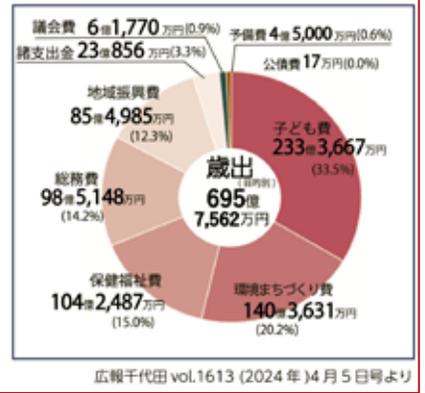
千代田区が丸見え！ **おもしろ** データ

千代田区民一人当たりの予算は101万円で、23区1位！みなさんは、実感ありますか？

また、人口が多いように見えて昼間人口だけがk千代田区。右の円グラフは、今年度（令和6年度）の予算です。子ども・子育て施策に重点を置き、高齢者・福祉施策に関しても安定した取り組み内容となっていますが、実は千代田区、世帯数で見ると6割強が単身世帯と高齢者世帯なのです。夫婦のみ世帯や単独世帯向けの施策と合わせて更なる充実が必要です。

これらの予算は本当に足りるのか、マンション世帯が多い中、災害時は大丈夫か——人がつながりにくくなっている千代田区で求められるまちづくりはどんなものか、みなさんも一緒に考えてみませんか？

- 人口：67,911人 (R5年)
- 昼間人口：903,780人 (R2年)
- 世帯数：38,548 (R5年)
- 年間予算：約695億円 (R6年)



「環境問題とまちづくり」について、みんなで話してみませんか？

ちよだカフェ

はじまります

7月18日 (木) 19:00～

会場：神保町区民館
講師：小島敏郎弁護士



参加費無料



小島敏郎さんを囲んで、30分ほど「環境問題とまちづくり」について、ミニ勉強会を開催します！そのあとは、千代田区のいま、昔、未来のこと、お茶とお菓子をおともに、みんなでゆったり、話しませんか？

こじま・としろう / 1949年生まれ。岐阜県出身。東大法学部卒業。環境庁（現・環境省）入庁。国際連合アジア太平洋経済社会委員会での勤務、イギリス王立国際問題研究所での研究生活も経験。地球環境局長、地球環境審議官を歴任。青山学院大学国際政治経済学部教授、東京都顧問などを経て、現在、早稲田リーガルcommons法律事務所顧問・弁護士。著書に『これだけは知っておきたい日本の政治 国と地方自治体の政治家と官僚』

「ちよだカフェ」には、千代田区のことをよく知る弁護士の大城聡さん・久道瑛未さんが毎回参加して下さいます。お2人は、常に住民の側に立ってさまざまな問題解決のために奔走する優しい弁護士さんです。



久道瑛未弁護士・大城聡弁護士

② 7月30日 (火) 19:00～

会場：麴町区民館

③ 8月26日 (月) 19:00～

秋葉原付近を予定しています

④ 9月3日 (火) 19:00～

富士見町付近を予定しています

毎回、ゲストをお呼びしたいと考えていますので、ぜひご参加ください。お楽しみに！

ちよだカフェで目指すこと

いま、千代田区ではさまざまな問題が起きていて、例えば、「ミッドタウン日比谷広場」「外神田・秋葉原」「日テレ通り」「神田警察通り」などがあります。2024年7月より、東京の中心である千代田区の“まち”の在り方や、人々の暮らしに直結した“まち”づくりについて勉強会を開催します。区民の皆さんはもちろん、千代田区に関わりのある方、千代田区が好きな方、一緒にさまざまな視点から話し合ってみませんか。参加費無料で、仕事帰りに立ち寄れる時間です。ぜひご参加ください。

生活の質・住環境を更に良くするために、あなたの声を聞かせてください

私たちが目指す千代田区

1. 歴史・教育・文化を大切にする“まち”
2. いつまでも住みたい、そして住み続けられる“まち”
3. 一人ひとりが尊重され、区民の声が届く“まち”



代表 堀義人

千代田区民の声を届ける会（千声会）は、千代田区をより住みやすい“まち”にするためのアイデア、ご意見を募集しています。みなさんのアイデア、ご意見、ご感想をお気軽にお寄せください。

千代田区民の声を届ける会 事務局 sensei_info@globis.co.jp